

1. 研究活動

■作品発表			
<p>「変容の時」－雅楽トリオのための－</p>	<p>2012. 7. 7</p>	<p>主催：ニンフェアール 第8回公演 会場：宗次ホール</p>	<p>雅楽トリオの作品。竜笛のソロから開始され、笙、箏に受け継がれていく。 そして、箏によって奏でられるフレーズが、全曲を支配している。 古典楽曲のアンサンブルにおける伝統的な響きを基に、各楽器の可能性を追求しながら、その中に新しい響きを追求してみた、特に、笙においても単なる和音楽器という扱いだけではなく、それ以外の演奏法について、その可能性を探ってみた。 演奏・竜笛 笹本武志 箏 中村仁美 笙 中村華子 (初演) duration 12ca.</p>
<p>「音の情景」－Vn.Vc.pf のための－</p>	<p>2012. 11. 7</p>	<p>主催：現音・秋の音楽展2012 会場：東京オペラシティーリサイタルホール</p>	<p>オーソドックスなトリオの編成による3章からなる作品の内、I・IIのみを初演。各楽章はそれぞれが、異なる楽想を中心に作られているが、全曲の響きのトーンは統一されている。 第1章はピアノの低い音域のコードから開始され、その響きによってVc.Vnが重要なテーマを引き継いでいく。そして3つの楽器は冒頭のテーマが動機操作によって変容されフレーズが、持続的、断片的に繰り返され全曲を構成している。第2章は、冒頭で提示される異なる楽想をもった動機群が、全曲を通して、多彩な変容繰り返しながら、全曲を構成している。 演奏：Vn. 佐藤まどか Vc. 松本ゆり子 Pf. 松山元 (初演) duration I 12.ca II 9'ca.</p>

「無言歌」－クラリネット、ピアノ、のための－	2012. 11. 15	主催：日口音楽家協会 会場：コンサートサロン「パウゼ」	本作品では、特殊奏法等は極力使わず、比較的古典的な手法で書いた作品といえる。全曲は3部分から構成されており、最初に提示されるいくつかの音列が、様々な展開をしていき、クラリネットとピアノは対峙、融合を繰り返していく。その中で、2つの楽器のおりなす絡みに関しても、古典的な対位法的手法、理念を応用し、新たな響きの境地を求めた。(初演) 演奏：Cl. 有馬理恵 Pf. 松山元 duration 13'ca.
Twilight 薄明－クラリネット、チェロ、ピアノのための－	2012. 12. 18	主催：パリ・エコール・ノルマル音楽院 会場：コルトーホール	2006年9月にザルツブルクの音楽祭 Salzbuger Museum Carolin で初演された作品の楽譜出版。内容説明は、2006年度名古屋芸術大学研究紀要に掲載 (再演) 演奏：Cl. 竹内雅一 Vc.Cecille Guillion Pf. 山田敏裕 duration 9'ca.
Tri-mode I II III	2013. 2. 27	主催：Berlin 日独センター 会場：日独センターホール	本作品は3章で作られており、それぞれの章は異なる方法論で書かれている。しかし核となる共通した動機群が各章の中心的な存在である。これにより3章全曲の統一をとっている。第1章は、VC,Va,そしてFlが時間差で奏され、それが1つのコードとなった後、カデンツァ的なフレーズがFlによって提示される。第2章は、Vaの素朴で旋法的なメロディーを中心に、他の楽器の無調で断片的なフレーズが絡んでいく。第3章は、コルレーニョ他、様々な奏法を駆使した音色の変化を全面に出した楽章。演奏：Ensemble United Berlin (初演) duration : total time 16'ca.
■ CD 録音			
「無言歌」－クラリネット、ピアノ、のための－	2013. 2. 23	録音会場：Berlin Jesus-Christus-Kirche Dahlem	2012年11月に東京で初演した本作品のレコーディング。duration 12'ca. 曲目内容説明は前掲 演奏：Cl.Alexander Bader Pf. 松山元 Ton Meister Eberhart Hinz
「相克の時」－クラリネット、パーカッション (Mar. Xyl. Vib)、ピアノのための－	2013. 2. 23	録音会場：Berlin Jesus-Christus-Kirche Dahlem	2012年1月にベルギーで初演した本作品のレコーディング。duration 12'ca. 曲目内容説明は2011年度研究紀要に掲載。 演奏：perc. (Mar.Xyl.Vib) Adum weisman Cl. Alexander Bader Pf 松山元 Ton Meister Eberhart Hinz duration 14'ca.
「音の情景」－ Vn.Vc.pf のための－	2013. 2. 24	録音会場：Berlin Jesus-Christus-Kirche Dahlem	2012年11月に初演したI, IIに加え新たに書き加えたIIIを含めレコーディング。I, IIの曲目内容説明は前掲。新たに書き加えたIIIは、3つの楽器が互いに絡みながら音楽が展開していくが、全曲のトーンとしては、抑制的な音像を目指した楽章である。 演奏：Vn.Nicolas Koecket Vc.Andrianov Boris Pf. 松山元 Ton Meister Eberhart Hinz duration Total time 21'ca.

■楽譜出版			
Twilight 薄明 クラリネット、チェロ、ピアノのためのー	2012. 10. 10	マザーアース株式会社	2006年9月にザルツブルクの音楽祭 Salzburger Museum Carolin で初演された作品の楽譜出版。内容説明は、2006年度名古屋芸術大学研究紀要に掲載 duration 9ca.

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目 作曲法研究Ⅳ		近年本学学生の、音楽的スキルの差が大きくなってきており、専門基礎の理論科目では学生の能力に応じたグレード別教育が必要と考える。また多彩な専門性を尊重しながら、将来音楽家として自立した時に実際に役立つ内容での教育が必要と考える。そのためには、音楽の骨格を学ぶ専門基礎科目の、特に理論分野で学んだ知識が、机上の理論で終わってしまわないよう、個々の音楽表現の中で生かされるよう教育的な工夫を考えていかなくてはならない。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
作曲理論コース4年次の専門科目である。個々の学生の個性に応じて、無調音楽を主に指導していく。そのために、20世紀から、現在にいたる様々な音楽の譜例を示し、実際の音源を聴かせることで、無調音楽の響きの世界を理解させていった。	現代作品のスコア・CD	
授業科目 対位法		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
演奏学科が対象であるため、対位法の概論的な授業を展開していく。前期では最終的に、2声の純粹対位法（華麗対位法）を実習させる。後期は2声のインベンションを一定の書式で実施させる。対唱をこちらで与え、経過句は反復進行による和音進行を基本とすることで、初心者でも作りやすいよう配慮した。さらに、本年は、主音上の保続音のコーダについて、詳しい説明を加え実習させることで、より音楽的なインヴェンションを作れるよう、工夫した。	ホセ・イグナチオ テホン「パレストリーナ様式による対位法」バッハのインベンション、パレストリーナ作品の楽譜	
授業科目 音楽制実習Ⅱ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
本科目では、基本的にはカレードスコープへの作品提供を目指す。履修コースの学生の中にはポップスに傾倒している学生もいるが、映像とのコラボレーションや新しい音楽、響きの構成方法を、実例を示す事を通じて、よりアート性に富んだ音楽作品が作れるよう工夫した。	各種音源・MaxMsp. その他の電子デバイス	

授業科目 作曲法研究Ⅲ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
本科目では、個々の学生の能力に合わせて、作曲理論の不足部分をおぎないながら、並行して、無調音楽の理論的理解のために、様々な現代の作品を紹介していった。これを基に多様のスタイルによる断片的作品を書かすことをさせ、その結果作曲の基本テクニックに上達が見られた。	現代作品のスコア・CD
授業科目 音楽応用演習Ⅱ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
音楽療法コースの対象の本科目では、和声学、ソルフェージュの内容に加え、各学生が音楽療法の実習で使える、即興演奏、伴奏付けなどを、学ばせる事を試みた。その結果、音楽の理論が実際の音楽の中で、いかに重要な位置を占めるかが認識された。	和声学1 本学発行の課題集。
授業科目 和声学特論	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ピアノコース対象の授業であり、シャランの380課題の中から、特に7の和音について正しい理解ができることに重点をおいて授業を進めた。また自分で実施した課題を必ずピアノで弾くことを指導することで、旋法的な響きをかいま見るフランス和声の響きの流れを敏感に感じ取れるようになっていった。	和声学 シャラン 380 課題

## 3. 学会等および社会における主な活動

カワイ音楽コンクール 中部本選会	2012. 4	審査員
2007 カワイドリマートンコンクール地区本選会	2012. 4	審査員 講評
ヤマハグレード試験 3,4,5,級	2012. 4. 1～2013. 3. 31 現在に至る	試験官
日本作曲家協議会	2012. 4. 1～2013. 3. 31 現在に至る	会員
日本現代音楽協会	2012. 4. 1～2013. 3. 31 現在に至る	会員
日口音楽家協会	2012. 4. 1～2013. 3. 31 現在に至る	会員